

一般財団法人萩原学術振興財団

2020年度 事業計画・収支予算

(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 事業計画

(1) 事業方針

当法人は、国内の科学技術の分野の研究機関、研究者、技術者を対象に、多彩な研究活動を助成することでその促進を図り、もって公益の増進及び活力ある社会の実現に資することを目的としている。

なお、本年度においては、第1回の助成事業の実施、及び、運用体制整備を行い、当年度中の公益法人への移行を目標とする。

(2) 助成事業の実施

第1回 研究助成の実施に向けて、募集要項の策定、選考基準の制定、選考委員会の設置までの準備を2019年度中に完了予定。

引き続き、2020年度は、第1回 研究助成として、助成対象となる研究課題を募集し、選考・決定を行い、助成金支給を実施する。

実施費用：	助成金支給	2,000 千円
	選考委員会運営費	150 千円
	助成金贈呈式運営費	120 千円
	合 計	2,270 千円

(3) 運用体制の整備

運用体制整備のため、2020年7月頃を目途に、事務局の執務室設置、通信環境整備、人員配置を行う。

執務室は10 m²程度、人員は事務局員1名を配置の想定。

実施費用：	事務所賃借料	月額	40 千円 × 8 か月 =	年額	320 千円
	従業員給与	月額	100 千円 × 8 か月 =	年額	800 千円
	通信費	月額	10 千円 × 8 か月 =	年額	80 千円
	合 計			年額	1,200 千円

(4) 公益法人への移行準備

2020年度中の公益法人への移行を目標として、公認会計士、及び、税理士法人からのコンサルティングを受けながら準備を進める。

2020年7月を目途に運用体制の整備を行い、2020年9月に公益認定申請書を提出。2020年2月末までに公益認定の承認を得ることを目標とする。

実施費用： コンサル業務委託費用 3,135 千円

公益申請・登記費用 300 千円

合 計 3,435 千円

なお、コンサル業務委託費用としての総額 440,000 千円であり、上記のほか、1,265 千円が2019年度の費用として計上される予定。

2. 収支予算

2020年度 収支予算書
(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:円)

科目	金額	摘要
(一般正味財産増減の部)		
経常収益		
受取寄付金		
受取寄付金	9,500,000	
経常収益合計	9,500,000	
経常費用		
事業費		
学術振興助成金	2,000,000	助成金支給
助成金費用	270,000	選考委員会運営費用及び助成金贈呈式運営費用
給与手当	720,000	従業員給与
旅費交通費	270,000	旅費交通費
通信運搬費	72,000	電話、ファクシミリ、インターネット回線
消耗品費	243,000	備品の購入代金、封筒・名刺・パンフレットの制作費用
賃借料	288,000	事務所賃借料
租税公課	46,800	登記費用、印紙税
委託費	3,435,000	公益申請コンサルティング費用
広報費	594,000	ホームページ保守費用
雑費	122,400	助成財団センター 年会費、研修受講費等
事業費計	8,061,200	
管理費		
役員報酬	240,000	理事会、評議員、監事報酬
給与手当	80,000	従業員給与
旅費交通費	135,000	旅費交通費
通信運搬費	8,000	電話、ファクシミリ、インターネット回線
消耗品費	27,000	備品の購入代金、封筒・名刺・パンフレットの制作費用
賃借料	32,000	事務所賃借料
租税公課	5,200	登記費用、印紙税
委託費	750,000	会計事務委託、事務委託
広報費	66,000	ホームページ保守費用
雑費	13,600	助成財団センター 年会費、研修受講費等
管理費計	1,356,800	
経常費用合計	9,418,000	
評価損等計上前当期一般正味財産増減額	82,000	
評価損等	0	
税引前当期一般正味財産増減額	82,000	
法人税、住民税及び事業税	71,000	法人県民税、法人市民税
当期一般正味財産増減額	11,000	
一般正味財産増減額期首残高	3,116,274	
一般正味財産増減額期末残高	3,127,274	

以上